

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和7年6月2日	
奈良県知事 殿	
提出者	
住 所 大阪府中央区北浜2丁目2番22号	
氏 名 不二建設株式会社 関西支社	
常務執行役員関西支社長 万屋 奉文	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 06-6228-6603	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	不二建設株式会社 関西支社
事業場の所在地	関西支社管轄内事業所：工事作業所各所
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06:総合工事業
②事業の規模	売上高：182億円
③従業員数	137名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添2 管理体制図のとおり

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 特になし。ISO14001再認証を取得、環境教育を継続。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 特になし。ISO14001再認証を継続、排出量削減目標を継続。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 特になし。ISO14001再認証を取得、環境教育を継続。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 特になし。ISO14001再認証を継続、排出量削減目標を継続。

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	（これまでに実施した取組） ・なし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	（今後実施する予定の取組） ・なし。		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量し た 産業廃棄物の量	— t	t
	（これまでに実施した取組） ・なし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量す る 産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） ・なし。		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組) ・なし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) ・なし。		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・電子マニフェストの採用を推進。昨年度：6020件（一昨年：4863）、99.9%達成。 ・混合廃棄物、木材、廃プラ、石膏ボードを標準分別。ALC広域収集及び塩ビ管分別の取組み。 ・コンクリート塊、アスコン塊は状況に応じて保管場所を設置。 ・多量に処分を委託する処理事業者の現地審査を随時実施。適切な処理状況を確認する。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。ISO14001再認証を継続。現状に同じ。</li> <li>・産廃電子契約を推進、契約率昨年度：93.0%（一昨年：79.7よりUP）</li> <li>・リサイクル率の高い処理事業者を優先的に採用する。</li> </ul>		

産業廃棄物処理計画書 別紙集計表

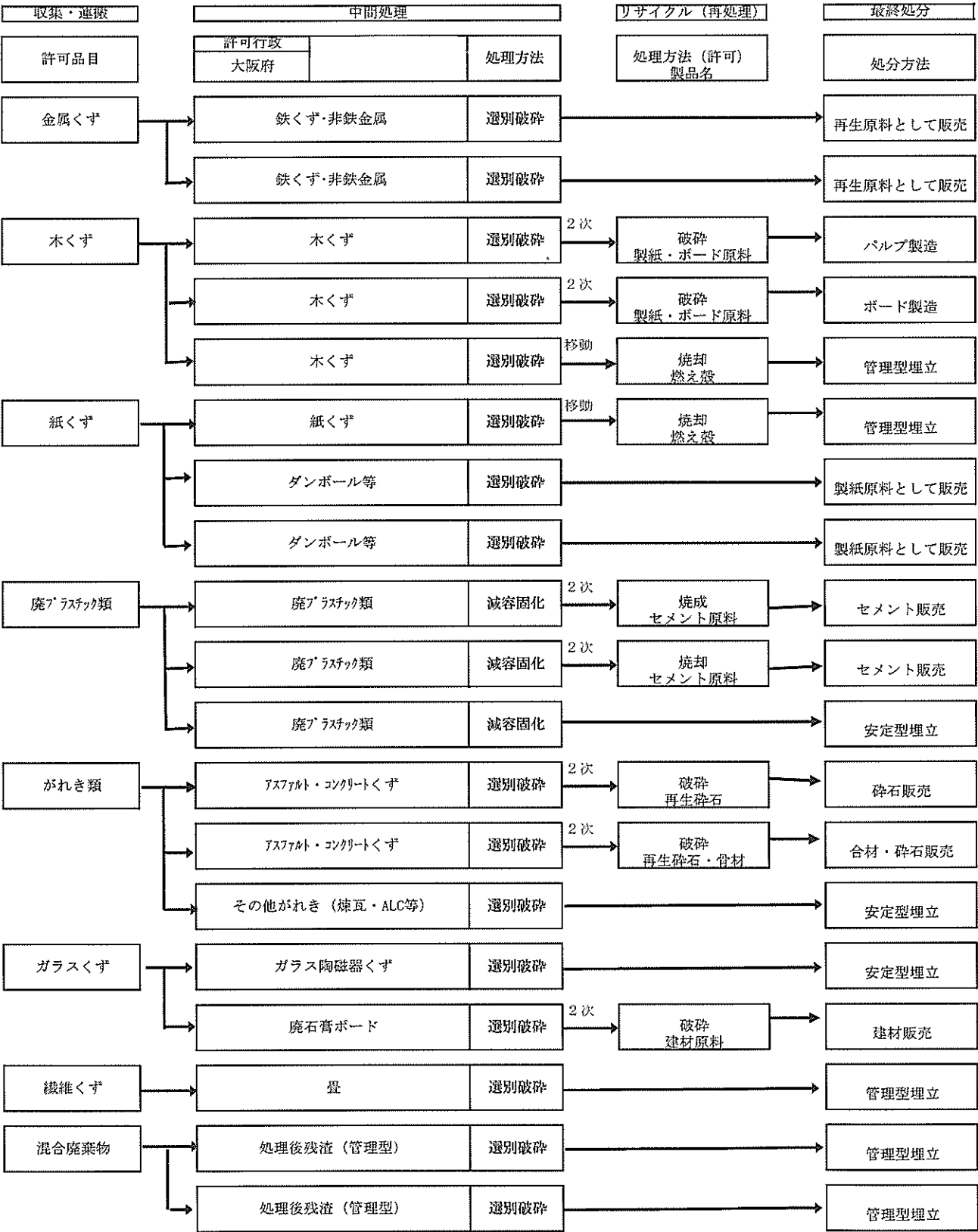
現状:前年度(令和6年度)実績量  
計画:今年度(令和7年度)計画量(目標)

単位:トン

産業廃棄物の種類	排出抑制		自ら再生利用を行った(行う)量		自ら行う中間処理				自ら埋立処分又は 海洋投入処分を 行った(行う)量		処理の委託									
	排 出 量				自ら熱回収を 行った(行う)量		自ら中間処理により 減量した(する)量				全 処 理 委 託 量		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		再生利用業者への 処 理 委 託 量		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
汚泥	1,393.40	1,379.47	—	—	—	—	—	—	—	—	1,393.40	1,379.47	1,393.40	1,379.47	1,393.40	1,379.47	0.00	0.00	0.00	0.00
木くず	4.21	4.17	—	—	—	—	—	—	—	—	4.21	4.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
コンクリート片	150.70	149.19	—	—	—	—	—	—	—	—	150.70	149.19	21.90	21.68	150.70	149.19	0.00	0.00	0.00	0.00
建設混合廃棄物(管理型)	9.49	9.40	—	—	—	—	—	—	—	—	9.49	9.40	9.49	9.40	9.49	9.40	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	1,557.80	1,542.23	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,557.80	1,542.23	1,424.79	1,410.55	1,553.59	1,538.06	0.00	0.00	0.00	0.00

別添1-1処理工程図（一般）

産業廃棄物処理ルート



搬入期間自：平成29年4月1日  
搬入期間至：平成30年3月31日  
搬入廃棄物：建設汚泥  
搬入量：212,855.72t

```

graph TD
    A[① 搬入汚泥] --> B{処理方法  
選択}
    B --> C[搬入汚泥の内、流動化処理  
及び脱水処理に適したもの]
    C --> D[② 材料用土砂※1]
    D --> E[③ 解泥用清水※2]
    E --> F[流動化処理土の材料が不足  
した際、材料として使用する]
    E --> G[すり分粒の結率を上げる為に  
清水を加え汚泥を液状化する]
  
```

① 搬入汚泥

② 材料用土砂（※1）

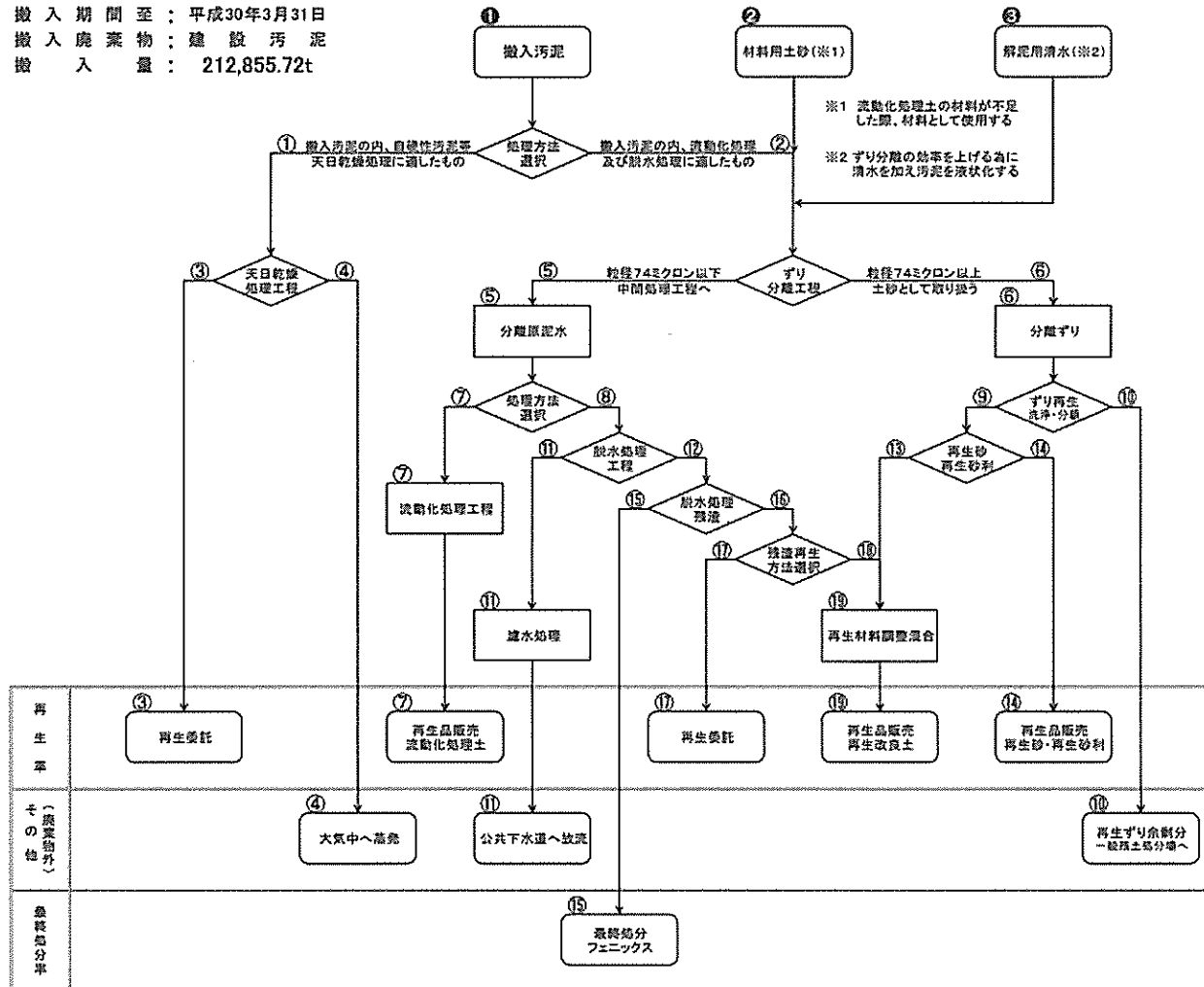
③ 解泥用清水（※2）

処理方法  
選択

搬入汚泥の内、流動化処理  
及び脱水処理に適したもの

※1 流動化処理土の材料が不足  
した際、材料として使用する

※2 すり分粒の結率を上げる為に  
清水を加え汚泥を液状化する





別添 2 管理体制図

